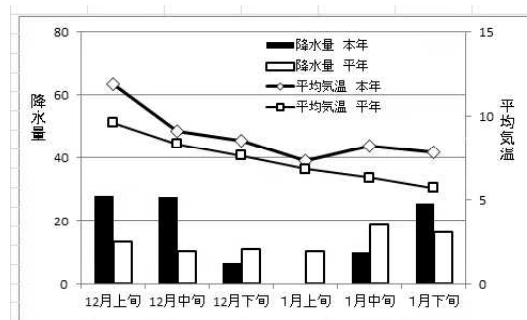


平成31年2月12日
大分県農林水産研究指導センター
病虫害対策チーム

早春期の虫害対策について

昨年の12月上旬から気温が高い傾向が続いており、特に1月以降の日別平均気温は、ほとんどの日で平年を上回って経過しています。そのため、アザミウマ類やアブラムシ類の発生および被害が確認され始めています。気象庁による1か月予報においても気温が高い傾向が続く見込みとなっており、虫害が多発する恐れがあります。発生に注意し、速やかな防除に努めましょう。



大分市における気温・降水量の推移

1. 対象となる害虫

- 1) アザミウマ類
- 2) アブラムシ類

2. 防除の考え方

- 1) 薬剤防除だけに頼らず、ほ場周辺の雑草防除や防虫ネット、反射資材等の物理的防除、耕種的防除を併用する
- 2) 繁殖率が高いので早期発見、早期防除が重要である。
- 3) 薬剤抵抗性害虫の発生防止のため、RACコードを参考にしたローテーション防除に取り組む。

3. 留意点

- 1) 防除薬剤は、作物によって使用できる薬剤が異なるので、農薬使用基準（使用時期、使用回数等）を遵守し使用する。特に、混合剤の場合、異なる商品名で同一の薬剤成分が含まれる場合があるため、「成分総使用回数」を十分確認した上で使用する。
- 2) 使用薬剤は大分県農林水産研究指導センター農業研究部病虫害対策チームホームページ内にある「大分県主要農作物病虫害及び雑草防除指導指針」を参照する。なお、薬剤によっては、指針の更新日以降に登録内容が変更されている場合があるため、薬剤のラベルに従って使用する。

(ホームページアドレス <http://www.jpnpn.ne.jp/oita/>)

